

茨木まちなかスタイル

茨木のまちなか、
どうしたい？





最近、まちなか

歩いてる？



まちなかへ行くのは
どんなとき？





通りすぎるだけの
まちなかじゃもったいない！



みんなが楽しく使いこなせる まちなかを一緒に考えませんか？

おにクルも開館して、ますますにぎわいを増した茨木のまちなか。

ですが、まちをつくるのは新しい施設だけではありません。昔から慣れ親しんだ建物やお店もあれば、公園や広場、道路からそこを行き交う車、自転車、人...そのすべてがまちを形作っています。

みんなが楽しく、積極的に足を運びたいくなるまちなか。そうなるためにはどんな状況が生まれるといいのでしょうか。この冊子では、そのためのちょっとした考えかた、ものの見かた、行動のヒントをまとめました。これが「茨木まちなかスタイル」として広がっていけば、みんなが楽しく使いこなせるまちなかへと育っていくはずです。



／ 久しぶりに
ぶらぶらしよう ／



／ くら辺で
ご飯屋さんを探そう… ／



まちなかをもっと楽しむ
10のスタイル

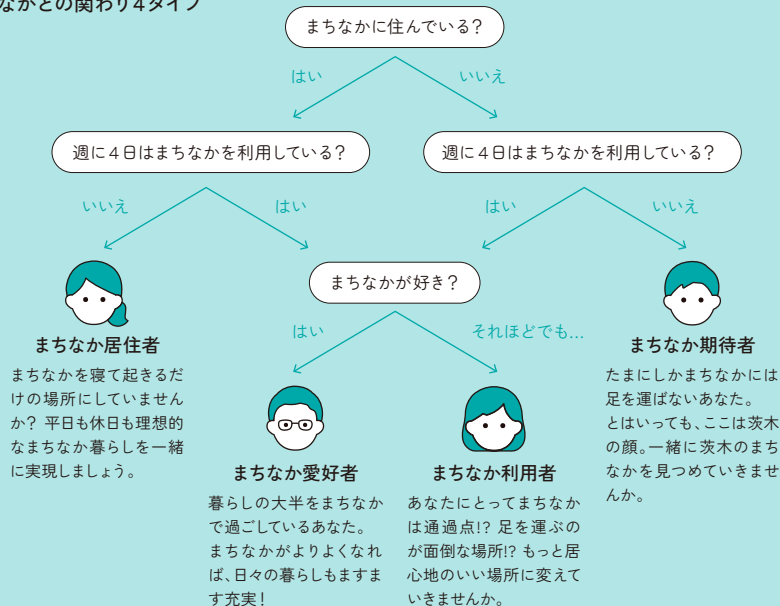
明日からはじめよう！

まちなかをもっと楽しみながら使いこなす「茨木まちなかスタイル」の実践のヒントとして、10のスタイルをまとめました。これは、まちなかの使いかた、感じかた、行動についてのちょっとした気づきを促すものです。

この10のスタイルから何を感じ、どんなことなら実行できるでしょう。
あなたも実際のまちなかを想像しながら、一度考えてみてください。

※まちなかを楽しむ10のスタイルは、「ひと中心のまちなか」に向けて茨木市が進めてきた取り組みにおけるアンケートやワークショップで抽出された、さまざまな意見をもとにしたものです。

あなたの“まちなか度”を診断

まちなかとの関わり4タイプ^①

Try it!

あなたもやってみよう!

10のスタイルごとに、4つのタイプに合わせた「明日から試せること」も掲載しています。

ぶらぶら歩くと新しい発見がある

STYLE 01



つい目的地に向かって一目散に歩いていませんか。少し時間があるなら寄り道をするのもいいし、目的地を定めることなく散歩するのもオススメです。自分の興味のおもむくまま、気の向くままに歩いていけば、どこかで新しい出会いもあるはず！ なんてね。歩く時間を退屈に感じるのではなく、充実した時間になるように。

Try it!

あなたもやってみよう!



まちなか利用者のあなたへ



まちなか期待者のあなたへ

まちなかで最後に写真を撮ったのはいつでしょう。

あえて何も調べないでまちなかに迷いこんでみて!

自転車でものんびり過ごせる



STYLE 02

歩くよりも速くて、遠くまで行けるから自転車で。そういった便利な交通手段としてだけではなく、移り変わる景色を、まちを、肌で感じる空気を、味わうためにゆっくりと自転車に乗ってみませんか。言ってみれば、散歩をするみたいな自転車ライフ。ただ、軽車両に位置づけられる乗り物ですから、周りもよく見てね！

Try it!

あなたもやってみよう！



まちなか愛好者のあなたへ



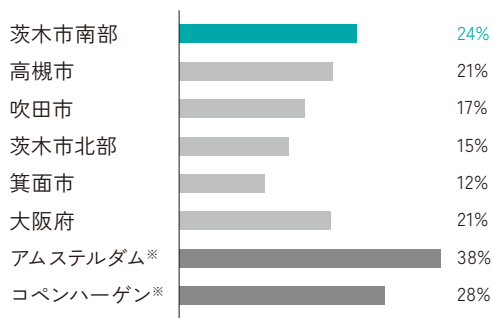
まちなか居住者のあなたへ

つい車で行っちゃう場所、
たまには自転車で行ってみて！

いつも自転車で移動する道に
どんなお店があるか知っていますか。

茨木市の自転車利用度は世界レベル!?

● 都市別の自転車利用率比較



※自転車利用を推進する世界的先進都市
 出典:2021年近畿圏パーソントリップ調査(大阪府内)
 Amsterdamse Thermometer Bereikbaarheid 2021 EUROPEAN MOBILITY ATLAS 2021

自転車利用の多い茨木のまちなか

茨木のまちなかはとても自転車が多いという印象がありませんか。大阪各市の自転車利用率を比べてみても、利用率24%の「茨木市南部エリア」は、大阪府下でも有数の高い水準であることがわかります。市のまちづくりに関するアンケートでは、安全な走行やマナーについての課題を指摘する声もありました。

自転車先進都市では...

一方、世界に目を向けると、自転車先進都市といわれるアムステルダムでは38%、コペンハーゲンでは28%とさらに高い水準で自転車が利用されています。両都市ともに平坦な土地であること、環境や健康への意識が高いことに加え、優先的に自転車道や駐輪場を整備したり、ラッシュ時以外は自転車の電車への持ち込みが可能だったり、自転車優先のまちづくりを強力に進めていることがその理由です。

茨木のまちなかでも

すでに自転車利用が多い茨木のまちなかでも、環境や健康への意識をより高めるとともに、もっと自転車が利用しやすくなれば良いと思いませんか。自転車利用者がお互いゆずり合いの意識を持てれば、心地いいまちなかの実現はきっと間近です。

日常的に四季の変化を感じられる

STYLE 03



何気ないまちなかにある街路樹、公園や広場の緑、小道の花壇、ささやかな水路...にも四季は移ろっています。日々の通勤や通学で通るおなじみの道でも、季節によってその表情は変わっているはず。春や秋にはまちなかでイベントが増えたり、夏休みには元気な子どもの声が聞こえてきたり。五感で感じるまちなかの季節を大事にしてください。

Try it!
あなたもやってみよう!



まちなか利用者のあなたへ

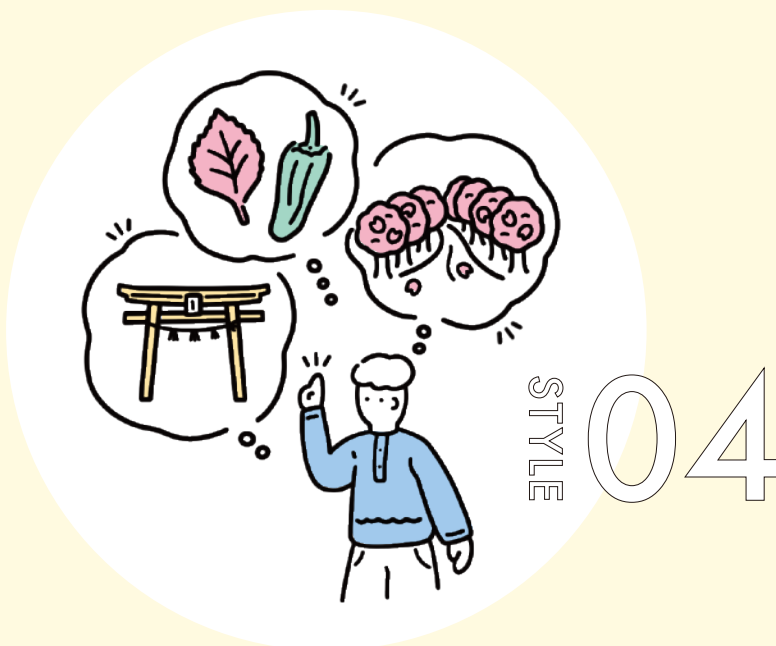
まちなかに足を運ぶならどの季節が好きですか。
その理由を考えてみましょう。



まちなか居住者のあなたへ

まちなかで12か月分のカレンダーをつくってみましょう。
あなたは何を撮影しますか。

このまちにしかないものがある



茨木市ってどんなまち？ そう聞かれたときにどのように答えますか。「あ、〇〇のある茨木ね！」と言われるような誰もが知る名所や名物もいいですが、私たちがひそかに愛着を感じているものを紹介することができたら、それだって十分に素敵なこと。さて、茨木といえば？...への答え、あなたなら何と答えますか。

.....

Try it!

あなたもやってみよう!

{



まちなか愛好者のあなたへ



まちなか期待者のあなたへ

}

老舗の店、地域の祭り、古くからの町名...
あなたは10挙げられますか。

地域の物産や地元にこだわったお店を
利用してみてください。

夜のいいにぎわいを感じる



STYLE 05

ささやかなお祝いごとをするレストラン。会社終わりに欠かさず通う習い事教室。夜のライトアップが素敵な通り。そんな夜のにぎわいを感じながら通りを歩いていく。実は、ただそれだけのことで満ち足りた時間を過ごせるはずです。昼とは姿を変えた夜のまちを楽しみましょう。

Try it!

あなたもやってみよう!



まちなか居住者のあなたへ



まちなか愛好者のあなたへ

家に帰る前にまちなかでもう少し時間を
過ごしてみる日があってもいいですね。

これまで入ったことのない近所のお店で
家族ディナーはどうでしょう。

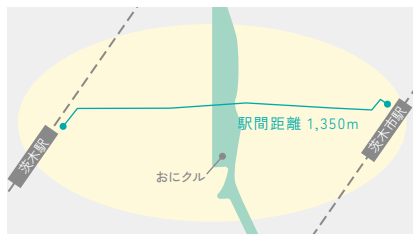
2つの鉄道駅にはさまれた まちなかの可能性

茨木のまちなかは2つの駅にはさまれていますが、これは、複数の鉄道が並走する京阪神間に特有の都市構造です。ここでは京阪神間にある、2つの鉄道駅にはさまれたまちの例と同じ大きさの地図で比較してみました。京阪神間の代表的な駅と比較してみたときに、茨木のまちなかは他都市よりも2つの駅間が広いこと、一方、片側2車線以上の幹線道路によって分断されており、全体に歩きやすいまちなかであることがわかります。

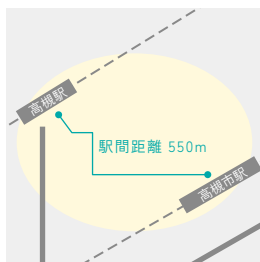
また、ちょうど2駅の間地点におにクルが完成したことで、大きな公園や緑地帯とあわせて、まちなかの中心部にさらなるゆとりが生まれています。

茨木駅と茨木市駅

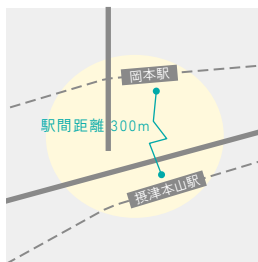
他のまちの例と比べると2つの駅間が広いですが、中央におにクルができたことでまちなかに新たな3つ目の拠点が生まれ、2駅間の中継地点としての役割も担っています。今後は、2つの駅間での行き来が期待されそうです。



高槻駅と高槻市駅



岡本駅と摂津本山駅



川西能勢口駅と川西池田駅



まちなかエリア 幹線道路

※マップはいずれも同じスケールです

思い思いに過ごせる場所がある

STYLE 06



自宅にいるのとはまた違った落ち着けるところ、あるいは集中力を発揮できる場所、知人や友達と偶然出会える居場所。自宅、学校や職場とも違った「サードプレイス」という言葉もありますが、それぞれの人が好きなように過ごしている空間は、なんだかとても心地いい。まちなかのサードプレイスを増やしましょう。

Try it!

あなたもやってみよう!



まちなか期待者の
あなたへ

お気に入りの本を片手にまちなかへ。
さあ、どんな場所で本を開きますか。



まちなか居住者の
あなたへ

まちなかにあなたのお気に入りの場所
はありますか。

みんなで考え育てる場所がある

STYLE 07



まちなかの公園に広場、駅前のちょっとしたスペース、まちを巡る遊歩道や水路など、公共の場所って誰のものでしょうか。どうすれば誰にとっても使いやすい場所になったり、思い思いに過ごすことができる空間になるのか。多くの人の思いやりをもって育まれた場所は、きっと長く愛される心地よい居場所になるはずです。

Try it!

あなたもやってみよう!



まちなか期待者の
あなたへ

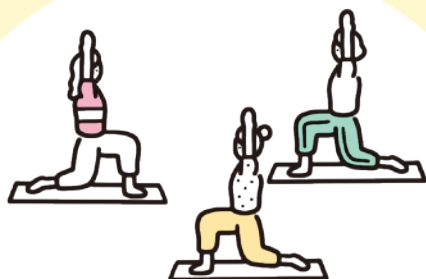
住んでいないからこそその意見や
まちなかとの関わりかた、たくさんあるはず。



まちなか利用者の
あなたへ

まちなかでやってみたいことを誰かに話してみましょう。
意外と実現できるのかも。

気軽にチャレンジができる



STYLE 08

何かを始めたいと思ったときに、まちなかで気軽に試せる仕組みがあったり、やさしく背中を押してくれる人がいたりするといいですよね。ささやかな趣味として始めたことで、多くの人が集まるまちなかで試していくうちに、より大きなチャレンジへとつながるかもしれません。試みの場所としてのまちなか、それって最高です。

Try it!

あなたもやってみよう!



まちなか居住者のあなたへ

実はやってみたかった仕事や夢をひとつ、まちなかで叶えてみませんか。



まちなか利用者のあなたへ

あなたの特技を活かして、まちなかで新しいことを始めてみましょう。

まちなかチャレンジのための場や仕組みの話

まちなかでの新しいチャレンジは、偶発的な出会いや出来事が生まれやすいもの。ひとりでこつこつと準備を進めて何かに挑戦するのもいいですが、多くの人に開かれたまちなかでのチャレンジだからこそ大きく前進できるということもあるでしょう。茨木のまちなかでいえば、たとえば茨木阪急本通商店街の「FICベース」の1階は、交流スペースとして、誰にでも開かれた活動や滞在の場となっています。

こうした商店街の一角をシェアするような試みは全国的に広がっています。たとえば、本棚のひと棚ごとにオーナーがいる私設図書館「さんとしょ」は、店番をすることを条件にチャレンジショップへの出店も可能となる仕組みを導入しています。ひと棚だけの図書館司書体験から、ワークショップや出店を目指す人まで、複数のチャレンジの場となっています。

奈良の「もちいどの夢CUBE」は、期間を限って場所を安く貸し出して、お試しの出店を促す仕組みです。期間終了後、卒業生は商店街内での起業を目指します。

また、遊休不動産のオーナーと出店意欲のある人をつなぐマッチングサービス「マチスタント」は、遊休不動産を掘り起こしつつ不動産所有者にも働きかける仕組みで、まちなかに新しい風を吹き込んでいます。

気軽にチャレンジできるような場がまちなかにあることもまちにとっては大きな財産となります。



FICベース（茨木阪急本通商店街）



さんとしょ（尼崎市・三和本通商店街）



もちいどの夢CUBE（奈良市・もちいどのセンター街）

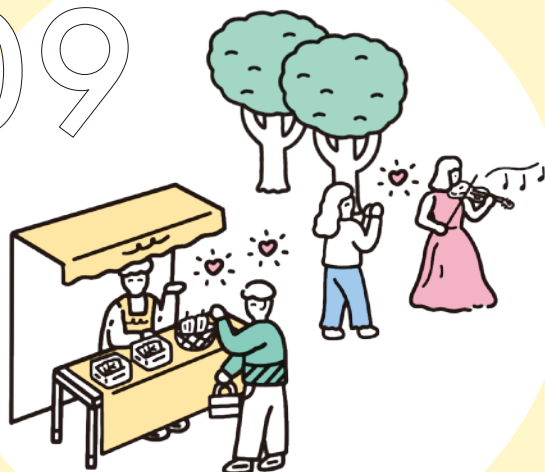


マチスタント（前橋市）

愛を持ってまちなかを応援する

STYLE

09



まちなかに新しくできた店があればまずは訪ねてみる。まちなかでがんばっている活動を見かけたら応援してみる。あなたひとりではなく、いっしょに仲間を作って活動したりサポートしたりするのもいいかもしれません。誰かにまかせるのではなく、自分からいちばんのまちなかサポーターになれば、まちなか愛もますます深まっていくはずです。

Try it!

あなたもやってみよう!



まちなか愛好者のあなたへ

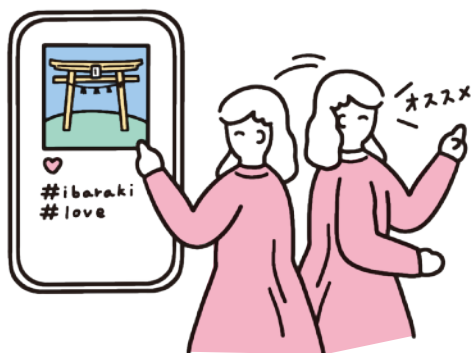
あなたがこだわっていること、
まちなかで探してみましょう。



まちなか期待者のあなたへ

外からまちなかに『推し』を見つけて
応援してみませんか。

いろんな人に紹介したくなる



STYLE 10

SNSやブログなどで自分のことを発信するように、まちなかでの出来事も自分のことのようにして紹介してみませんか。まちなかを楽しみ、使いこなす、それぞれのやり方を共有することで、もっともっとまちなかはよくなっていくはずです。あなたのひとつの発信がどこかで誰かの日常を、暮らしを変えているかもしれません。

Try it!

あなたもやってみよう!



まちなか愛好者のあなたへ

世界に向けて発信したい
まちなかの魅力って何でしょう。



まちなか利用者のあなたへ

誰かを連れてまちなかに
遊びに来てください。



西口も変わるの!?

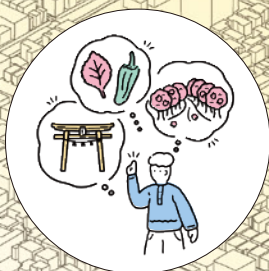


何か楽しいことやってないかな?

ワクワクする通りになるといいな

いろんな人に紹介したくなる

おにクルの上層階からまちなかを見渡



思い思いのスタイルを実現できるまちなかに

茨木のまちなかは、まだまだたくさんの可能性を秘めています。
さまざまにまちと関わりを持つみなさん(まちなか居住者/愛好者/
利用者/期待者)が、10のまちなかスタイルをさらに拡張しながら、
まちなかで思い思いに過ごしてください。



イバラボ広場も新しくなるみたい

古いまちなみをもっと活かせないかなあ

緑地がきれいになってうれしい

商店街がさらに楽しい場所になれば

駅前が変わるといいな

ゆくゆくは歩行者優先にしていこう



ひと中心のまちなかに向けて 茨木市が考えていること

茨木市では、JR・阪急両駅周辺を“コア”、中央にあるおにクルを含めた公園や緑地等を“パーク”、2つのコアを結ぶストリートや商店街を“モール”と位置付け、まちなかを「2コア1パーク&モール」の都市構造で捉え、まちづくりを進めています。

まちなかの中心となる“パーク”では、おにクルのオープンにより、茨木らしいまちの楽しみ方や使い方がまちの風景として日常の中に見られるようになりました。

次のステップは、まちなかに関わる、あるいは関わりを持ちたいみなさんとともに、まちなかを楽しみながら使いこなす「茨木まちなかスタイル」を広げることで、幸せや豊かさを共感できる「ひと中心のまちなか」を目指していきたいと考えています。

コンセプトは「手をつないで歩きたい、茨木まちなか」。まちなかでそぞろ歩きを楽しんだり、お気に入りの場所があったり、まちなかの楽しさを誰かと共感し合えるといった「ひと中心のまちなか」への思いを込めたメッセージになっています。

さあ、みなさんも一緒に、ひと中心のまちなかへと歩みを進めていきませんか。





1.目的

茨木らしい幸せと豊かさを共感できるまちなかの実現



2.求めていく価値観

ひと中心の茨木まちなかスタイル

茨木のまちなかを楽しみ、使いこなすための10のスタイル



STYLE 01

ぶらぶら歩くと
新しい発見がある



STYLE 02

自転車でも
のんびり過ごせる



STYLE 03

日常的に四季の
変化を感じられる



STYLE 04

このまちにしかない
ものがある



STYLE 05

夜のいいにぎわいを
感じる



STYLE 06

思い思いに過ごせる
場所がある



STYLE 07

みんなで考え
育てる場所がある



STYLE 08

気軽にチャレンジ
ができる



STYLE 09

愛を持って
まちなかを応援する



STYLE 10

いろんな人に
紹介したくなる



3.コンセプト

手をつないで歩きたい、茨木まちなか

文字通り「手をつないで歩きたくなる」ようなゆとりのあるまちなかという意味に加え、まちなかスタイルへのみなさんの共感と実践によるいい影響の輪が人から人へ広がっていくイメージを込めています。

● そぞろ歩きが楽しめる

目的がなくてもそぞろ歩きが楽しめるまちなかでは、偶然の出会いや発見が魅力となり、何度となく訪ねたくなるとともに滞在時間が増えるでしょう。

● お気に入りの場所がある

他にはないお気に入りの場所や個性的な行きつけの店があることでまちなか愛が芽生えたとともに、リピーターやまちなかサポーターを育てます。

● だれかと共感しあえる

お気に入りの店で新しい店を紹介されたり、イベントで知り合った人の企画する場を訪ねてみたり。まちなかでは共感が共感を呼び込んで自然と広がります。



4.戦略

ひと中心の茨木まちなか戦略

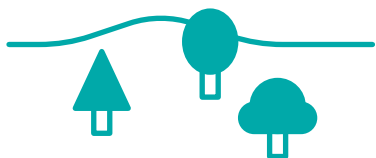
「ひと中心の茨木まちなか」を実現するために必要な施策や取り組みをひきつづき検討していきます。

ひと中心のまちなかづくりのために 市民のみなさんからの声

ひと中心の茨木まちなか戦略の検討にあたって、これまで
まちなかで実施したアンケート(9回)、ワークショップ(8回)
で出た意見をあらためて振り返りました。



Q. 緑地をどうしていきたい？



- ・さくら通りの桜を復活させたい
- ・散歩をするには土の道がいいです
- ・鳥が実を食べる木々を残してほしい
- ・市民で樹木の管理をするのはどうでしょう
- ・句会や桜クイズなど、桜の木を活かした活動を
- ・お弁当を食べられるベンチがあればいい

Q. 歩きたくなるストリートって？



- ・がんばるぞ！とスイッチが入るような通り
- ・孫と気軽に入れるお店
- ・ひとりでぼーっとできる
- ・歓迎ムードを感じる
- ・ふらっと立ち寄れる広場がある
- ・目的地へ向かう途中もわくわくする

Q. 市民会館跡地で何をしたい？



- ・休日の早朝マルシェ！
- ・朝ヨガからのリラックスできるカフェがあればいいな
- ・静かな場所に勉強できる机とイス
- ・犬と子どもが一緒に遊べる場所
- ・大きな木の下で大好きな本を読みたい
- ・プロジェクターで映画やスポーツ観戦
- ・星のイベントをしながらビアガーデン！

Q. 駅周辺に求めること



- ・流行のお店が入る商業施設
- ・ちょっとした待ち時間を快適に過ごせる場所
- ・緑のある広場のような憩えるスペース
- ・娯楽やジムなどの余暇施設
- ・余裕のある歩行空間を
- ・カフェやレストランなどの飲食店
- ・わかりやすいバス乗り場の案内表示

茨木のまちなかデータ あれこれ

市役所にある皆さんのデータからいくつかをご紹介します。あなたはこのデータからどんなことを読み取りますか。いつかまたテーブルを囲んで話し合いたいでしょう。

まちなか商店街数

13 商店街
413 店舗

店舗数は各商店街組合に加入している数です。
(令和5年4月末時点)

人口

約 **29** 万人
大阪府で8番目です。

IBALAB@広場での活動通算

100 団体以上

昼夜間人口比率

93.9 %

昼間270,079人/夜間287,730人と、昼夜で市内にいる人数はほとんど変わりません。
(令和2年国勢調査より)

転入超過

+1,811 人

隣接5市町村(亀岡市、吹田市、箕面市、摂津市、豊能町)からは転入が多く、高槻市へは転出超過です。
(2022年総務省統計局の住民基本台帳人口移動報告より)

人口増加率

+2.7 %

昭和50年から継続して増加。参考までに吹田市3.0%、摂津市2.9%、箕面市2.6%、高槻市0.2%。
(茨木市統計書 令和5年版より)

図書館の所蔵冊数

約 **133** 万冊

冊数だけでなく、貸出点数、市民一人あたりの貸出点数ともに北摂1位。
(茨木市統計書 令和5年版より)

幸福度

平均 **6.897** 点

「とても幸せ」を10点として0～10点で評価。日本平均は6.129点。
(茨木市のまちづくりに関するアンケート報告書2023より)

茨木フェスティバル 来場者

学校数(大学・高校)

6 大学 **11** 高校

約2万人の大学生がいます。
(茨木市統計書 令和5年版より)

おにクル来館者数

95日で **50** 万人突破

1日あたり5000人以上が来館しています。

約 **12** 万人

2023年の1時間あたりの最大入場者は14,000人でした。
(いずれものべ人数)

できることから
はじめませんか？

次なる茨木グランドデザイン
プロジェクトチーム

茨木市 都市整備部 / 建設部
〒567-8505 茨木市駅前三丁目8-13

冊子制作

企画・制作：竹中工務店 まちづくり戦略室

編集：竹内厚(Re:S)

デザイン：タナカタツヤ

イラスト：サヌキナオヤ、鈴木なるみ

発行：2024.4



次なる
茨木へ。

